

# 産業廃棄物最終処分場焼却施設撤去作業(緊急対策工事)の概要について(案)

## 1. 撤去対象施設の概要

	南側焼却炉	東側焼却炉
写真		
施設規模	・木くず 14.4t/日 ・汚泥 8.1m <sup>3</sup> /日 ・廃油 6.0t/日 ・廃酸 1.0m <sup>3</sup> /日 ・廃アルカリ1.0t/日 ・廃プラスチック9.0t/日 ・その他廃棄物0.144t/日	木くず 4.8 t /日
稼働期間	自 平成元年1月17日 至 平成12年1月25日	自 昭和61年12月5日 至 平成12年1月25日 (平成7年に変更あり)

## 2. 撤去工事の目的

- ・老朽化した焼却処理施設の倒壊によるダイオキシン類の飛散防止を目的とします。

## 3. 撤去する範囲

- ・撤去する範囲は、巻末の図に示す「倒壊する恐れのある」部分です。なお、今回の工事では倒壊する恐れのない中央制御室、機械基礎及び下部コンクリート槽は撤去しません。

## 4. 撤去工事における基本方針

### 安全の確保

「廃棄物焼却施設内におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」(平成13年4月25日厚生労働省通達 基発401号の2)を遵守し、作業の安全確保に努めます。

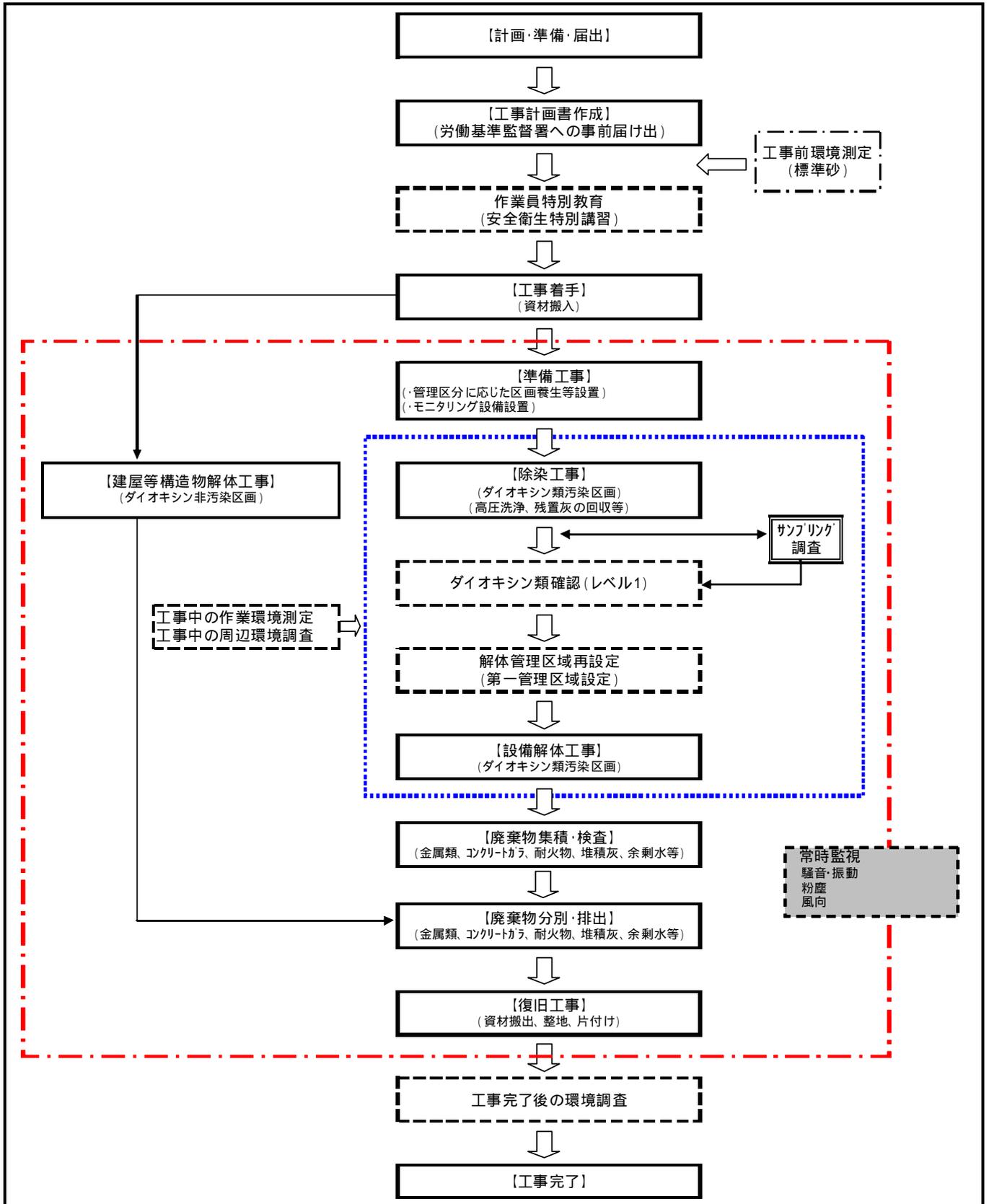
### 周辺環境への配慮

- ・作業時間は、原則、午前8時から午後5時までとします。
- ・仮囲いを行い、粉塵の飛散、振動・騒音の防止等を行います。また、解体に使用する重機類は、極力、低騒音型のものを使用します。
- ・工事前、工事中、工事後に敷地境界付近や工事作業場内等において、ダイオキシン類等の濃度測定を行います。
- ・工事車輛の通行に際しては、安全運転を遵守するとともに、施設周辺の要所に交通整理員を配置し「地元車輛最優先」の運用を徹底します。

### 透明性の確保

施工方法、環境調査等箇所、調査結果等については、地元住民の皆様に適宜公表致します。

## (参考) 工事の流れ



## 5. 解体時における安全対策について

解体時における安全対策については、以下のとおりです。

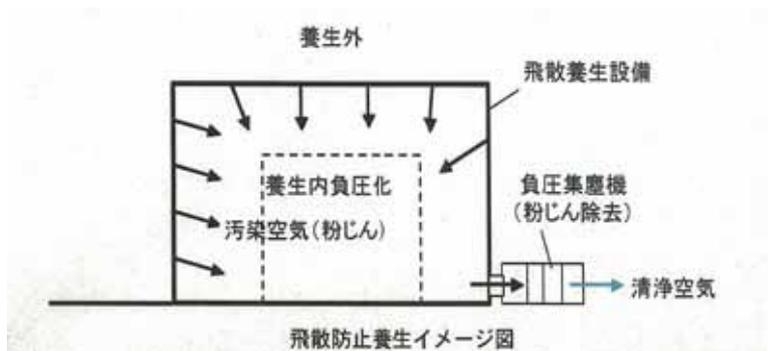
汚染の拡散防止対策(粉じん、汚染水、汚染物)

### (1) 粉じん

- ・解体する施設全体をシート等で覆い、解体物周囲を養生します。

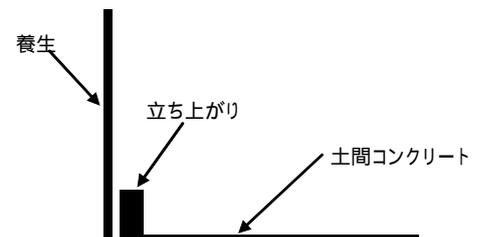


- ・送風機を設置し、養生した内部を常に負圧に保ちます。
- ・吸引した内部の空気は集塵機で浄化(粉じん除去)します。



### (2) 汚染水

- ・養生した内部の土間はコンクリート等で覆い、地下への汚水の浸透を防ぎます。
- ・土間コンクリートの周囲については、立ち上がりを設け、汚染水の流出を防ぎます。
- ・除染後の汚染水は1箇所に集め、ポンプで吸引し、仮設の水処理施設で浄化処理します。なお、除染後の水は浄化処理後、機器の洗浄水として再利用します。



### (3) 汚染物

- ・洗浄後の汚染物は養生内にドラム缶等に保管し、その後産業廃棄物として関係法令の許認可を得た産業廃棄物処理施設にて適切に処理・処分します。
- ・水処理施設から発生する汚泥及び最後に残る余剰水については、外部の産業廃棄物処理施設にて適正処理・処分します。

## 除染

- ・ダイオキシン類が付着している部分については、解体前に超高压水による洗浄を行います。超高压水で落ちない部分についてはサンドブラスト(細かい砂を高圧で吹きつけ、汚れを削り取る)等の適切な方法で除染を行います。

### 除染作業



#### 除染例1 (排ガス冷却設備)



除染前



除染後

#### 除染例2 (空気予熱器)



除染前



除染後

#### 養生内への立ち入り

- ・養生内への立ち入りは、写真のようなクリーンルームを経由して入退場いたします。クリーンルームでは、除染時に着用する衣服の着脱及び粉じん飛散防止措置を実施します。



## 6. 解体撤去の工程案について

解体撤去の工程案については、以下のとおりです。

項目	2009年			2010年						
	12月			1月		2月			3月	
準備工										
工事計画書作成										
養生対策等										
汚染物除去工事										
解体撤去工事										
片付け・清掃										
環境測定										
汚染物搬出										

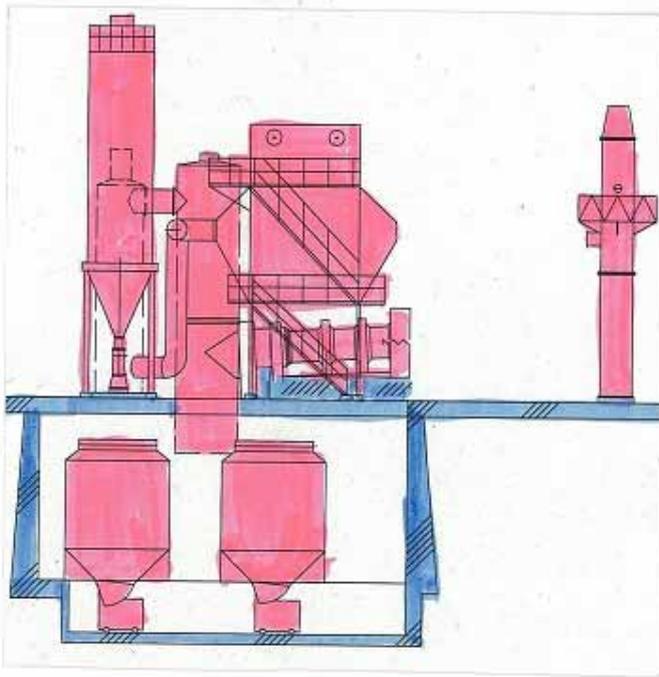
備考:2施設同時に撤去工事を行う場合

## 7. 解体撤去に伴う環境調査について

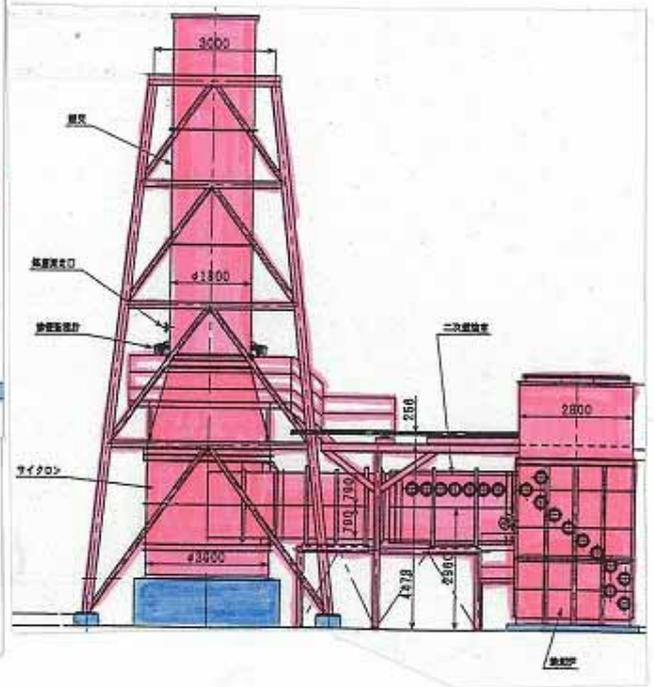
解体撤去に伴う環境調査の内容については、以下のとおりです。

環境モニタリング調査概要

測定期間		項目	測定場所	測定方法		頻度	測定数	
解体工事前 ～解体工事 完了	定期 測定	総粉じん量	工事区画	ハイボリウム エアサンプラー	9時間吸引	1回/1週	4地点	
		ダイオキシン類	工事区画	ハイボリウム エアサンプラー	9時間吸引	1回/1月	1地点	
		浮遊粒子状物質 (SPM)	工事区画	ローボリウム エアサンプラー	9時間吸引	1回/1週	4地点	
	日常 測定	工事区画	騒音・振動	騒音・振動計による自動測定		連続		4地点
			浮遊粉じん	デジタル粉じん計による自動測定				
			風向風速	風向風速計による自動測定				
			温度・湿度	温湿度計による自動測定				
						1地点		



南側焼却炉



東側焼却炉

- : 撤去する範囲
- : 撤去しない範囲